

『トンボのすみかを見てみよう!』

～トンボの世界はすみわけが命!!～

○月△日



日直
越谷
田川
さく
んん





今までの授業では、
生きものの気持ちになるための
3つのコツのうち
①体のつくり
②くらし(食べもの・卵のうみ方)
を見てきたよね。

生きものの気持ちになる
ための3つのコツ

- ①体のつくり
- ②くらし(食べもの・卵のうみ方)
- ③すみか



今日は、
生きものの気持ちになるための
3つのコツ・・・最後の

“すみか”

について見てみよう!!

生きものの“すみか”って？



『ごはんがたくさん食べられる』

『子どもをうめる』

『子どもが元気に育つ』・・・など

安心してくらしていける場所が

“すみか”です！



トンボは肉食でしたね。

幼虫は水中の小さな虫や動物プランクトン、小魚など

成虫は自分の体より小さな、飛んでいるチョウやバッタなど

ということは・・・

トンボが生きていくためには食べものとなる

他の生きものたちもたくさん暮らせる

“すみか”がないと暮らしていく

ことができないよね！



さらに、
トンボは卵のうみ方や
明るい場所と暗い場所の好みが種類によって
大きくちがいます。

ひとつの水辺に多くの種類のトンボが仲良く
すみわけてくらすためには、様々な環境が
“すみか” がないといけないんだ!

ひえ〜っ!
たいへんだ!!



明るい水辺で卵をうむトンボは

明るい草原で食べものをとる種類が多くて

暗い水辺で卵をうむトンボは

暗い林や日かげになる場所で食べものを

とる種類が多いんだよ！

明るい草原



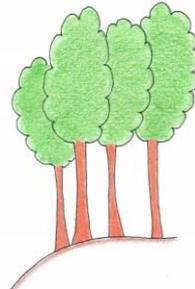
明るい水辺



暗い水辺



暗い林



今回はビオトープで見られた
トンボの成虫を調べてみよう！

そして、“すみか”
についても見てみよう！！





おわり